

海を越えてひろがる交流の輪



# Public Information

## 広報

## vol.8

1999.3

KAKOGAWA  
INTERNATIONAL  
ASSOCIATION  
財団法人 加古川市国際交流協会



ニュージーランド料理講師と参加者



はじめて書道に挑戦するワイタケレ市の学生

### CONTENTS

(財)加古川市国際交流協会  
1998年 国際交流レビュー 2

I LOVE KAKOGAWA  
在住外国人紹介のページ 6

私のブラジル体験 7

インフォメーション 8

## 4月 外国人のための 日本語講座開講 (4/10~3/18)

約50名の外国人が協会内の教室で、登録ボランティアの指導により、日本語を学んでいます。今年は、初級2クラスと中級1クラスがあり、毎週木曜日の夜実施しています。

お知り合いの外国人に、ぜひこの講座を教えてあげてください。また、日本語指導を希望されるボランティアも随時登録を受け付けています。



<初級クラスのみなさん>

## 4月 ワイタケレ市中学生 加古川市訪問 (4/25~5/8)

姉妹都市ニュージーランドのワイタケレ市から学生16名、引率5名が加古川でホームステイしました。

学生たちは、陵南中学校や鶴林寺、ウェルネスパークなど市内の施設を訪問したり、京都観光を楽しむなど日本での生活をたっぷり堪能しました。

2週間お世話してくださったホストファミリーのみなさんありがとうございました。



<陵南中学校・剣道のクラスにて>

## 5月 ふれあいティータイム (5/27)

今回のゲストは、大韓民国出身の朴命州(パク・ミョンジュ)さん。日本人男性と結婚されてからの異国日本での生活、ふるさとの思い出や習慣などを流暢な日本語で、ユーモアたっぷりにお話していただきました。

最後に、参加者はパクさんが持ってきてくれたチマチョゴリを着て楽しみました。



<ティータイムの様子>

## 8月 第7回 加古川市青年海外派遣 (8/12～8/23)

派遣生8名は数回の事前研修を経て、飛行機を乗り継ぎ、約24時間かけてブラジルに到着しました。

姉妹都市のマリンガ市ではホームステイをしながら、マリンガ総合大学、イグアスの滝などを見学。それぞれの研修テーマに沿った施設を視察し、帰国時にはアメリカ・ロサンゼルスにも立ち寄りしました。



<シュラスコのレストランにて>

## 8月 第8回 加古川市中学生海外派遣 (8/11～8/25)

今年も市内の中学生13名は、引率とともにフィジー経由で、ニュージーランド・ワイタケレ市に到着。15日間のホームステイを体験しました。

真夏の日本を出て、連日10℃～15℃前後の気温の中、シープワールドで子羊にミルクをあげたり、硫黄の島を探索したり、博物館で先住民マオリのショーに圧倒されたりと、毎日が驚きと感動の連続でした。



<さよならパーティにて>

## 10月 ふれあい国際料理講座 (10/9～12/4)

在住外国人を講師に招き、お国自慢の家庭料理を学ぶ講座が今年も開催されました。

今回学んだ料理は、ニュージーランド・中国・インド・ブラジル・韓国料理の5回コース。どの料理もほとんどが、普段簡単に手に入る食材だけでできることに参加者はびっくり。

料理だけでなく、講師の人柄にも触れ、おいしくて楽しい交流を楽しみました。毎年秋に実施しています。



<講師手づくりのにんじんで作った鳥の飾りと水ぎょうざ>

## 10月 日本文化セミナー (10/3~11/29)

在住外国人に、日本文化に親しんでもらうための新しいプログラムを実施しました。

第1回は10月3日、華道に挑戦。第2回は10月31日、茶道と着付けを体験。実際にお茶をたてることなど、全員初めての経験だとか。第3回は日本料理で、炊き込みごはん、魚のホイル焼き、みそ汁の作り方を学びました。講師や通訳はすべて当協会ボランティアにお願いし、日本の伝統文化を通じたひとときの交流を楽しみました。



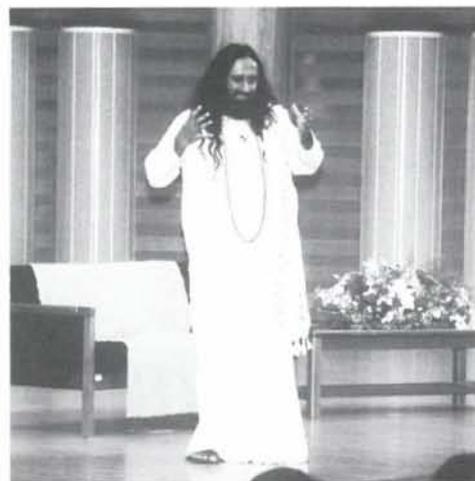
<茶道と着付けに挑戦！>

## 10月 アート・オブ・リビング講演会 (10/31)

加古川ウェルネスパークにて、南インド出身のラヴィ・ラヴィ・シャンカール先生を招き、「生きるための術とは？」と題して講演を行いました。

ヨガのひとつである呼吸法と心身の健康に関する話に、参加者は熱心に耳をかたむけたり、先生の指導のもと簡単な瞑想にもチャレンジしました。

同時に、恵まれない子供のために募金を、との呼びかけに参加者から15,899円もの募金が集まり、すべて「アート・オブ・リビング財団」に寄付させていただきました。



<シャンカール先生の熱弁>

## 11月 パラナ州経済使節団 加古川市訪問(11/26)

アントニオ・上野ブラジル元連邦議員を団長とするパラナ州経済使節団が、今年も加古川市を訪れました。

メンバーは、弁護士・議員や会社経営者など、パラナ州で活躍されている15名で、市役所を表敬訪問した後、マリンガ市から贈られた交流の記念碑を見学しました。



<市役所の表敬訪問>

## 11月 ブラジル・ゲートボール使節団が 交流試合 (8/12～8/23)

県内ゲートボールチームとの交流試合のため、はるばるブラジルから使節団が来日しました。

秋晴れの下で開かれた23日の加古川大会には、東播・神戸ブロックなど72チームが参加。新設の加古川運動公園陸上競技場で、のびのびとプレーを楽しみました。

その後も親善試合に参加するため、県内各地を訪問されました。



<加古川大会の様子>

## 1月 マリンガ市青年加古川市訪問 (1/20～1/24)

駒込団長と8名のマリンガ市青年が来日し、5日間加古川に滞在しました。

派遣生は、以前協会からマリンガに派遣された青年宅にホームステイをしながら、市内を見学したり、姫路城や神戸を訪れました。

おわかれ夕食会では、全員日本語で“幸せなら手をたたこう”の歌を披露し、それぞれのホストファミリーとの思い出を深めていました。



<マリンガから送られた記念碑の前で>

## 2月 第7回加古川市障害者海外派遣 (2/12～2/19)

10名の派遣生が、ニュージーランドへ出発するまでに数回の事前研修が実施されました。

実際に市内のホテルで宿泊研修をしたり、食事のマナーや簡単な英会話など、熱心に勉強しました。

ニュージーランドでは、乗馬セラピーやカヌーの練習、現地の人々との交流などを通じ、外国での生活を満喫しました。

それぞれ、親元を離れての体験を思い出にして元気に帰国しました。



<ヒツジの毛刈りに挑戦>

# I LOVE KAKOGAWA ⑤

～在住外国人紹介のページ～

今回は、両親の仕事の関係で来日した、加古川在住の小学生にお話をお伺いします。

今回のお客様 張 宝江 さん

Q はじめに自己紹介をお願いします。

A 張 宝江 (ちょう ほうえ) といいます。  
1997年6月に中国の青島から来ました。13歳ですが、小学校の6年生です。

Q ふるさとのことを教えてください。

A 青島は、10階建てくらいのマンションが立ち並んでいるところです。  
また、青島のお正月は2月16日です。  
お正月は、家族で水ぎょうざを食べます。

Q 日本に来て、一番驚いた事はなんですか。

A 一戸建ての家が多いことです。

Q 加古川の印象を教えてください。

A 田んぼや畑があって、いいなあと思います。

Q これまでで一番うれしかったことを教えてください。

A 日本の友達がいっぱいできたことです。

Q 中国での生活と、違うところはどんなところですか。

A 日本に来て勉強する時間が少なくなりました。  
中国では朝5時半に起きて、学校へ行き、午前6時半から8時半まで勉強です。それから9時から夕方5時まで勉強し、家で夕食をとった後、再び午後7時から9時まで勉強。  
さらに、自宅で宿題をすませ、夜12時頃寝ていました。

Q 趣味はなんですか。

A 中国語の楽しい本を読むことです。

Q 日本で旅行したい所はありますか？

A 冬の北海道に行ってみたいです。



<自宅でチャイナドレスを着て>

Q 将来の夢を教えてください。

A 日本語の通訳になりたいです。

Q 加古川のみなさんへ、一言お願いします。

A 日本のこといろいろ教えてください。  
どうもありがとうございました。

(談) 流暢な播州弁でお話してくれる張さんは、当協会の日本語クラスに通っています。

ひときわ明るく、まわりを元気にしてくれるチャーミングな女の子です。

★市役所市民課によると、現在約2,300名の外国人登録者が市内に住んでおり、そのうちの約340名が16歳以下だそうです。

日本語を学び、一生懸命日本の生活に適應しようとする外国の人々を、心から手助けできる隣人でありたいものです。



平成8年2月から平成10年12月まで、姉妹都市ブラジルのマリンガ市にある、加古川マリンガ外国語センターに、日本語教師として派遣された方の帰国報告をご紹介します。

## 私のブラジル体験

西畑 さおり

「ああそう、日本から来たの？  
どのくらい、いたの？」

「いいえ私は、日本の日本人なの  
です。」

めっきり現地化してしまいたかった私にとっては、うれしい言葉でした。ブラジルに滞在して1年が過ぎた頃から、いろいろな方にそう言われるようになりました。

まずは、私の生活の中心であった日本語学校ですが、朝から晩まで様々な時間帯に授業が準備され、子供のクラスから大人のクラスまで用意されています。日系の方でも、3世の子供たちだとほとんど日本語を知りません。大人の方は日本で働いた経験のある方、また日本で働きたいと思っている方を中心に、生徒さんが多かったです。それはそれは楽しい毎日でした。お雛祭りや、七夕などの日本行事を行ったり、折り紙、あやとり、日本の手遊びなど、教科書を使う以外にもたくさんのお話を子供たちは学びます。着物を着る機会も、日本の子供たちより多いかもしれません。「あつい、あつい」を連発しながらも喜んで着物を着ている姿に、私まで幸せな気持ちになりました。おじいさんや、おばあさんと日本語で話ができるように、会話を身につけてほしいというご両親の気持ちとは裏腹に、文字に興味のある子供達の間で、どうすれば話せるようになるのか、とても悩んだ時期もありましたが、子供達の頭の良さには驚かされます。時とともに少しずつ確実に覚えていくようでした。

プライベートでは、日本語のわからない人とも、つきあいができるようになりました。実際、私が知らないたくさんの方の日本の文化を、ブラジルで学ぶこともできました。困ったときに、一番に相談にのってくれるのもこの方々でした。とても感謝



<日本語の授業にて>

しています。また、日本語の話せる方は、基本的に私が日本人だというだけですごく大切にしてくれます。いつも私は大切なゲストで、思わず自分にはまるで特別な人間になったような錯覚に陥る気がして、これではいけないと思いました。そうではなく転居先で新しい人の輪の中に、一人で入っていくように自分のポジションを作っていくと努めました。優しい友人達の協力もあって、対等に意見交換ができるまでになりました。

私は、すべての人々に感謝の気持ちでいっぱいです。私にブラジルでの生活のチャンスを与えて下さった加古川市国際交流協会の方々、現地マリンガのアセマ（マリンガ文化体育協会）の皆様、前任の先生方、そしてたくさんの方の感動をくれた生徒の皆さん、子供達、本当にありがとうございました。このようなすばらしい経験を、より多くの方々にしていただけたらと、心から思います。これからも両市間の交流がますます発展されますことを、お祈り申し上げます。

# INFORMATION

## 加古川市国際交流講演会のご案内

- 日 時 平成11年3月22日(月・休)  
午後2時～3時半
- 会 場 加古川市民会館中ホール
- ゲスト ピーター・フランクル氏(数学者)
- テーマ 世界おもしろ30か国体験談
- 入場料 無料
- 申 込 協会、市役所案内、各市民センターで配布している整理券が必要です。
- 問合せ 国際交流協会事務局

## テレホンカード・古ハガキの回収

使用済みのテレホンカードやオレンジカードを回収しています。

ハガキは書き損じなど古いものでも結構です。

集まったものは日本国際ボランティアセンターを通じて、東南アジアの復興に役立てられます。

協会まで持参、もしくは郵送してください。

みなさんのご協力をお願いします。

## ボランティア募集



協会の事業をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。

### ① 語学ボランティア

各種交流事業での通訳、ガイド及び翻訳

### ② 各種サービスボランティア

日本文化の紹介、外国人への日本語指導など

### ③ ホームステイボランティア

外国人のホームステイ受け入れ

## 賛助会員募集

当協会では、毎年国際交流活動や外国人の受け入れ事業など、各種事業をご支援くださる賛助会員の募集をしております。

会費は事業費の一部として活用させていただきます。

年会費	個人 1口	2,000円
	団体 1口	5,000円
	法人 1口	10,000円

- 申し込み 協会事務所、市役所案内などに、申し込み書があります。  
詳しくは協会まで。

会員には、指定旅行社の優待割引制度や各種の国際交流に関する情報の提供など、さまざまな特典を受けることができます。

## 協会6か国語案内文

在住外国人に地域での生活をより快適に過ごしてもらうために、国際交流協会の活動内容を記した案内文を作成しました。

A3サイズ1枚に、6か国語(日本語・中国語・韓国語・英語・ポルトガル語・スペイン語)で、協会の活動内容とK.I.A.カード(登録申し込み書)がついています。

カードをお送りいただくと、協会イベントや国籍別に必要な情報を、随時無料でお送りします。

お知り合いの外国籍の方には是非お知らせください。

案内文は協会事務所の他、市役所市民課外国人登録の窓口に置いています。

## 図書貸し出しをしています

国際交流協会では、日本語教材や姉妹都市関係の書籍を中心に、図書の貸し出しをしています。

ぜひお立ち寄りください。

1999年3月発行

(財) 加古川市国際交流協会

〒675-0017

加古川市野口町良野387-1

TEL 0794-25-1166

FAX 0794-25-0200

## 編集後記

新しい年を迎え、みなさまいかがお過ごしでしょうか。昨年4月に、協会は市役所東隣に移転いたしました。4階建てのレンガ造りの建物で2階が事務所になっており、日本語講座などができる会議室もあります。ぜひ一度お立ち寄りください。

また、協会へのご意見、ご感想をお待ちしています。